

江端ゼミの学生がマルコメと共同でカフェメニューを開発 ～「糎茶寮 Produced by 魚沼醸造」で期間限定発売開始～

iU（東京都墨田区、学長 中村伊知哉、<http://www.iu.ac.jp>）の基幹教員・江端浩人ゼミに所属する学生が、マルコメ株式会社（本社：長野市、代表取締役社長 青木時男）と共同で、三重県多気町にある商業リゾート施設「VISON（ヴィソン）」内の発酵カフェ「糎茶寮（こうじさりょう） Produced by 魚沼醸造」でメニューを開発し、スイーツとドリンク4品を期間限定で発売しています。本プロジェクトは江端ゼミのプログラム「勝手にコンサル」の取り組みで、学生はメニュー開発や広報施策、「糎茶寮」での店頭販売に携わりました。



■ 共同プロジェクトの経緯

今回のプロジェクトは、iUの考え方や方針、学生の新しい発想力に対し、マルコメの担当者の方々に共感していただき生まれました。学生たちは2025年2月13日（木）に糎茶寮を現地視察し、調査研究から発案を進めてきた内容をもとにメニューを提案しました。

そして最終的に採用された「春を先取る糎ドリンク・スイーツ」の「抹茶と桜の白玉糎ラテ」「糎抹茶ノンアルモヒート」「春色糎ラッシー」それぞれを税込580円、「糎抹茶プリン」を税込500円で、2月13日（木）から4月12日（土）まで期間限定で発売しています。



■ マルコメ指導社員のコメント

マルコメ株式会社 マーケティング部 広報宣伝課 松田真依氏



本プロジェクトは江端浩人教授とのご縁からスタートしました。ゼミ生と交流の場が生まれたことを心から嬉しく思っています。「糎茶寮」は、発酵をテーマにしたマルコメグループ初のカフェです。お客様に美味しく健康をお届けする思いはゼミ生にも理解され、メニューの開発からプロモーションまで一緒に取り組んできました。今までになかった発想力で多くの方に糎の魅力を知ってもらいたいきっかけになればと願っています。

■ 江端コメント

iU 基幹教員 江端浩人



この度は、マルコメ様、糀茶寮様とご縁をいただきありがとうございました。江端ゼミでは、2023年より“勝手にコンサル”の取り組みを始めており、現在まで10社の企画に関わらせていただきましたが、実際に施策が即日反映されるものは初めてで学生たちも大変楽しく熱心に取り組んでいました。自由な発想の中ではありますが、各種制限をクリアするという実社会の厳しさを経験できたことは将来に向けて非常に有意義だと思います。SNSの施策も含め、効果が出ることを期待しております。

江端ゼミの「勝手にコンサル」：<https://x.gd/mRXDz>

ゼミ生が企業を訪問、視座を高めるとともに訪問企業に対して外部からの気付きを与え、価値を提供することを目的としています。Z世代ならではの視点を企業側に提供。大手企業で多数の実施例があります。現在ゼミ生は27名、そのうち6名が本プロジェクトに参加しました。

■ 学生コメント

iU3年 秋山優人



私は「味噌と言ったらマルコメ」と親しんできた一方、糀製品については存じ上げておらず、活動を通じてその魅力を感じることができました。糀製品を販売するだけでなく、「糀茶寮」のように糀の魅力を発信する場を提供する姿勢に、伝統と革新を両立するマルコメ様の企業理念を強く感じました。私は「糀抹茶ノンアルモヒート」や「糀抹茶プリン」を考案しましたが、メニュー開発を通して企業としての制約と限られたリソースの中で商品を生み出す難しさを実感しました。今回の経験を実社会での課題解決や新たな価値創出に役立てていきたいと考えています。



■ 糀茶寮 Produced by 魚沼醸造

●所在地：三重県多気郡多気町ヴィソン 672 番 1 サンセバスチヤン通り 8

●営業時間：平日 10:00～17:00 土日祝 10:00～18:00

●席数：13 席

●URL：<https://vison.jp/shop/detail.php?id=53>

しぜんを醸し、いのちを造る。越後三山の軟水に恵まれた米どころにある魚沼醸造のアンテナショップ。柴野大造氏が監修した糀甘酒ソフトクリームをはじめ、糀を使った軽食を楽しめるくつろぎ空間です。



<大学概要>

■ 大学・学部学科名

・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」

・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ・・・。

プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。 起業数48、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。 結果、就職率97.5%。

連携企業737社、客員教員1,160人。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして、地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等103プロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う正課「eスポーツ」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■ 学長



京都大学特任教授、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりIU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

■所在地

・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

・学生数：698名 ・基幹教員数：27名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■学びの特色

「ビジネス」「ICT」「グローバルコミュニケーション」この3つが学びの柱

①論理的思考で世の中に変革を起こす【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習

さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

②情報通信技術の可能性を知る【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける

プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

③国境を越えて世界中の人と協働する【グローバルコミュニケーション】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施

・全員起業：必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、全員が在学中に起業にチャレンジ。希望者には事業化まで伴走するプログラムや資金提供、大学の所在地を使った登記などをサポート

・オンラインを活用した授業サポート：自ら積極的に学ぶための環境を用意

■ 育成人材像

- ・ICT を活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp